

■人口予測 都市づくりのグランドデザイン(2017年9月)

東京の人口は、現在は増加傾向にあるものの、2025年の1,398万人をピークに減少に転じると予測されている。全国の後を追うように高齢化も進展し、2045年には高齢者数は411万人となり、都民の約3人に1人が高齢者となる時代が到来する。

■産業 都民ファーストでつくる新しい東京(2016年12月)

東京は首都として、さらには、日本経済の中心として、これまでの日本の発展に貢献してきた。現在も、都内GDP(都内総生産(名目))は104.3兆円(2015年度)^{*}で、国内総生産の約2割^{*}を占めている。また、様々な本社機能や世界的にも高度な技術を有する中小企業の集積もあり、東京は、まさに我が国の成長エンジンである。

※数値は「都民経済計算(都内総生産等)平成27年度年報」(2018年3月)の値に更新

■道路交通 都民ファーストでつくる新しい東京(2016年12月)

東京の都市計画道路の完成率は約6割であり、区部における混雑時平均旅行速度は16.8km/hとマラソンランナーより遅く、国内外主要都市と比較して依然として低い水準にある。

参考 平均旅行速度:シンガポール 35km/h、パリ 34km/h、ロンドン 26km/h、神戸市 28km/h、札幌市 27km/h、横浜市 21km/h、大阪市 19km/h

■観光 PRIME 観光都市・東京(2018年2月)

日本を訪れる外国人旅行者数は、一時的な落ち込みはあるものの、右肩上がり伸びており、この10年間で約3.4倍に増加した。東京を訪れる外国人旅行者数もこの10年間で約2.7倍に増加し、2016年は過去最高の約1,310万人に達した。2016年度に東京を訪れた外国人旅行者数の訪問地域を見ると、新宿・大久保、浅草、銀座、渋谷、秋葉原など上位はすべて区部の地域が占めており、多摩・島しょ地域への訪問割合は低い状況となっている。

■災害 セーフシティ 東京防災プラン(2018年3月)

首都直下地震は今後、30年以内に70%の確率で発生すると言われており、毎年のように来襲する台風、激甚化する豪雨被害、火山噴火など東京は様々な自然災害のリスクに直面している。

目指すべき都市構造(広域的なレベルの都市構造)

都市づくりのグランドデザイン(2017年9月)

広域的には概成する環状メガロポリス構造を更に進化させ、道路ネットワークを更に強化・活用するとともに、東京の大きな強みの一つである網の目の鉄道ネットワークも充実・活用し、「自由自在な移動と交流」を支える。